

貸借対照表
 (2022年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	6,774,554	流動負債	1,376,341
現金及び預金	1,005,041	買掛金	1,017,108
受取手形	7,290	未払費用	238,643
売掛金	1,547,999	未払金	1,460
商品	288	未払消費税等	11,086
製品	64,158	未払法人税等	61,167
貯蔵品	16,891	リース債務	11,559
原材料	19,209	預り金	33,868
前払費用	22,403	役員賞与引当金	750
預け金	3,992,742	その他	697
短期貸付金	17,214		
未収入金	75,133	固定負債	436,553
立替金	3,096	長期預り金	8,500
その他	3,084	リース債務	3,066
固定資産	1,146,451	資産除去債務	40,625
有形固定資産	933,507	退職給付引当金	382,894
建物	65,407	役員退職慰労引当金	1,466
構築物	32,759		
機械装置	584,557	負債合計	1,812,895
工具器具備品	5,179		
土地	232,259	(純資産の部)	
リース資産	13,344	株主資本	6,108,110
無形固定資産	9,058	資本金	90,000
ソフトウェア	9,058		
投資その他の資産	203,885	利益剰余金	6,018,110
投資有価証券	2,000	利益準備金	22,500
関係会社株式	12,627	その他利益剰余金	5,995,610
長期貸付金	49,489	別途積立金	4,930,000
長期前払費用	1,713	繰越利益剰余金	1,065,610
差入保証金	23,907	(うち当期純利益)	(273,767)
繰延税金資産	113,806		
その他の投資	340	純資産合計	6,108,110
資産合計	7,921,005	負債及び純資産合計	7,921,005

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- | | |
|-----------|---|
| ① 関係会社株式 | 移動平均法による原価法 |
| ② その他有価証券 | |
| 市場価格のあるもの | 期末決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定) |
| 市場価格のないもの | 移動平均法による原価法 |

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法(貸借対照表額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)による。

- | | |
|-------|-------|
| ① 製品 | 先入先出法 |
| ② 商品 | 個別法 |
| ③ 貯蔵品 | 移動平均法 |
| ④ 原材料 | 移動平均法 |

(3) 固定資産の減価償却の方法

- | | |
|------------------------|---|
| ① 有形固定資産
(リース資産を除く) | 定率法
ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)及び2016年4月1日以降に取得した建物附属設備、構築物については、定額法による。 |
| ② 無形固定資産
(リース資産を除く) | 定額法 |
| ③ リース資産 | 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。なお、リース取引開始日が企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の適用初年度開始前のリース取引については通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。 |

(4) 引当金の計上基準

- | | |
|-------------|---|
| ① 貸倒引当金 | 売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。 |
| ② 役員賞与引当金 | 役員賞与の支給に備えるため、期末における支給見込額を計上している。 |
| ③ 退職給付引当金 | 従業員等の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務から中小企業退職金共済支給額を控除した額を計上している。 |
| ④ 役員退職慰労引当金 | 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく当事業年度末要支給額を計上している。 |

(5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

- ①消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式を採用している。
ただし、資産に係る控除対象外消費税等は発生事業年度の期間費用として
いる。
- ②資産除去債務に関する 資産除去債務に関する会計基準(企業会計基準第8号)及び資産除去債務
会計基準 に係る会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第21号)に準じた
会計処理としている。

2. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 3,989,966 千円

上記減価償却累計額には、減損損失累計額 55,998千円 を含んでいる。

3. 一株当たり情報に関する注記

- (1) 一株当たり純資産額 33,933.94 円
(2) 一株当たり当期純損失 1,520.93 円

4. 記載金額は千円未満を切捨てて表示している。